

**次期愛知県観光振興基本計画(仮称)検討委員会  
第2回観光地域づくり部会 議事録(概要版)**

■日 時

2023年9月20日(水)午後1時～午後3時

■場 所

愛知県議会議事堂1階ラウンジ  
オンライン Zoom \*ハイブリッド形式により開催

■出席者

●委 員(敬称略)

○…部会長

所属・職	氏 名	形式
株式会社カーネル総研 取締役 コンテンツ・プロデューサー/中部圏インバウンドセールス・プロジェクト 事務局長	<small>あかさき まきこ</small> 赤崎 真紀子	対面
日本政府観光局(JNTO)MICE プロモーション部次長	<small>いたがき あやこ</small> 板垣 彩子	対面
国立大学法人和歌山大学 経済学部 教授	<small>おおさわ たけし</small> ○大澤 健	対面
名城大学 名誉教授	<small>ふたがみ まみ</small> 二神 真美	対面

欠席：株式会社リクルート さわのぼり つぐひこ じゃらんリサーチセンター長 沢登 次彦

●オブザーバー(敬称略)

所属・職	氏 名	形式
一般社団法人中央日本総合観光機構 常務理事・事務局長	<small>おぎの みつたか</small> 荻野 光貴	対面
一般社団法人愛知県観光協会 専務理事	<small>さかさばら ひとし</small> 榊原 仁	対面

●事務局(愛知県観光コンベンション局)

所 属 ・ 職	氏 名
観光振興課長	大参 孝彰
国際観光コンベンション課長	多田 花緒里
国際観光コンベンション課国際展示場室長	鈴木 太郎
観光振興課 担当課長	小川 克信
国際観光コンベンション課 担当課長	安藤 嘉雄
国際観光コンベンション課国際展示場室 担当課長	上田 茂

観光コンベンション局各課長補佐・室長補佐同席

\*顧問、局長、推進監はオンラインで参加。

## ■主な内容

### 【目指すべき姿】

- 「事業者」に向けたメッセージを込めるべき。
- 目指すべき姿の表現「あなたのダイスキに出会える」に違和感がある。代案は『宝の持ち腐れやめました。』『「さすが」と言いたくなる観光県・あいち』を考えた。

### 【施策立案・実施にあたっての基本方針及び施策の展開分野】

- 「あいち「ツウ」リズムの推進」における「受入環境の整備」を充実したほうがよい。
- DMO の財源確保について明記してほしい。
- 持続可能な観光を推進していくためには、県民の観光に対する意識変革・参画意識の向上を記載したほうがよい。
- 「イノベーション」に関する施策内容に華々しさが無い。
- デジタル人材の育成だけでなく、現在あるリソースの活用（マッチング）についても検討していったほうがよい。
- この地域の特徴をだすため、製造業との連携について特出し記載してもよい。
- MICE 分野についてもイノベーションの要素を記載したほうがよい。
- MICE 専門人材の育成についても取り組む必要がある。
- この地域の強みである学術拠点や産業基盤を活用した取組、経済機関との連携を生かした MICE 誘致についても記載したほうがよい。

### 【数値目標】

- グローバルマーケットを意識するのであれば、国際会議協会（ICCA）の統計を指標にしてもよい。また、主要施設における認証取得数も検討を。
- 2025 年にインバウンドが全面回復すると予測されている。2025 年に山場を持ってくるよう目標値を設定してもよい。
- 持続可能な観光の推進状況のモニタリング指標として、サクラクオリティに限定しないほうがよい。

### 【推進体制と各主体の役割】

- 各者の役割の中でも連携を進めることを記載したほうが良い。
- 隣県との連携についても記載したほうが良い。

### 【その他（全体に係ること）】

- 「ツウ」は B to B で使用し、B to C へはそれぞれのマーケットに訴求するワードやコピーをそれぞれ作って PR するとよい。
- KGI/KPI の数値の取り方もデジタルの活用について検討を。